



NO.931

2013・8・11

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三・四四五八
F 四三・四四五七



原水爆禁止世界大会

国際会議閉会!

広島市で行われていた原水爆禁止2013年世界大会・国際会議は5日、核兵器の残虐性・非人道性を広範な人々に知らせ、核兵器禁止条約の交渉開始の扉を開く運動と世論をさらに広げるよう呼びかける宣言を、参加者の総意として採択し閉会しました。

宣言は、20万人余の市民の命を奪った広島と長崎の原爆投下は「人間として死ぬことも、生きることも許されない」「この世の地獄」だったと指摘。核兵器の即時違法化を求めています。2015年の核不拡散条約(NPT)再検討会議に向け、全ての政府に「核兵器のない世界」の合意実現を迫ることを訴えています。

「原爆展」や被爆者証言活動、国際署名、ソーシャルメディアの活用など、多くの人々が参加できる多様な行動を組織すること、あらゆる核被害者への支援・連帯をすすめることを強調しています。

広島と長崎は

今年被爆68年

広島は6日、アメリカによる原爆投下から68年を迎えました。広島市では、原爆死没者を追悼し、核兵器廃絶・平和を願う行事が終日行われました。あの一発の原子爆弾は広島市の街を壊滅させ、その年の末までに約14万人の尊い命を奪いました。生き残った人々も放射線の影響で今でも苦しめられています。

被爆者健康手帳を持つ被爆者は、全国で20万1779人(うち広島市に6万4302人、3月現在)、前年から9051人減りました。広島市内の被爆

者の平均年齢は78.3歳になりました。一日も早く核兵器のない世界を築きましよう。

原水爆禁止世界大会

代表決まる

網走市からの代表が22歳の女性に決まり、6日に網走を出発し千歳で北海道代表团と合流し長崎へ向かいました。

お知らせ

第46回網走母親大会

日時 2013年8月20日(火)
13時~15時まで
場所 エコーセンター3階研修室
参加費 500円(資料代)

託児所あり

講師 小森陽一氏

「今こそ、憲法9条の輝きを日本に、そして世界に」
戦争する国にもどるはコメン!

お問い合わせ先 新日本婦人の会事務所

電話 43・6744

後援 網走市・網走市教育委員会

主催 第46回網走市母親大会実行委員会

いっせいで東奔西走

太平洋戦争の終戦間際、アメリカが8月6日に広島、9日に長崎に原爆投下してから68年になりました。

両市を一瞬のうちに地獄の街にかえ、同年末までに広島市で14万人以上、長崎市で7万3千人以上の命を奪い、助かった人も原爆症で苦しみ、毎年少なくとも数千人がなくなっています。

しかし、唯一の被爆国である日本政府は、4月の国連会合で、核兵器の非人道性を指摘する共同声明に賛同しないと表明し、大きな批判を浴びました。それは場合によって核兵器の使用を認める態度表明だからです。

6日のラジオで広島市の原爆ドームの語り部の女性の方が外国人に核兵器廃絶の署名をお願いしたところ、「あなたの方は国連で核兵器の非人道性を指摘する共同声明に賛同しなかった。外国人より自国民にそのことを早く知らせ、国の方針を変えていく努力をしたら」と言われ、国際的に相当な反発があると感じ、国の態度をまず改めねばと思つたそうです。

まったくそのとうりです。核廃絶の声をもつと日本のすみずみに広げて行きましよう!

おぼろげな奮闘メモ

先日、原水爆禁止世界大会の代表が決まりました。私は原水爆禁止網走協議会の理事の一員なので、

この間、何人かの候補者をお願いしていましたが、6日から10日まで休みをとることが、さまざまな事情から困難を極めました。

どうしても決まらなければ私が行くしかないという覚悟をしながら募金活動を進めていました。何とか7月下旬に代表が決まり元気を出して募金を集めています。ぜひ、多くのおみなさんのご支援で目標額を達成させたいと思いますので、よろしくご協力いただきますようお願いいたします。

元気を出してといつても実は夏風邪をひいてしまいました。外は30度前後の暑さ車の中はエアコンをきかさないと暑くてたまらないのでエアコンを利かさなごのことから風邪をひいてしまいました。少々無理をしたため振り返してしまい長引いています。気合だ!

流水

空港近くの畑一面に咲くひまわりを見ました。真夏の強い太陽の下で誇らしげに存在感をアピールするひまわり、

ふと、40年前に見た映画の一シーン。広大なひまわり畑を哀しげに歩くソフィアローレンの姿を思い出しました。もう一度DVDであの映画を見たいと思つています▼映画「ひまわり」は戦争に引き裂かれた愛を描いた傑作です。兵士とその妻(ソフィアローレン)が恋に落ち結婚しますが夫は戦場に行きそのまま消息を絶ち妻には「行方不明」という一枚の通知だけ。「あなただけを見つめる」ひまわりの花言葉を胸に「夫は生きている」と信じ何年も待ち続けるが、やがて夫の写真を手にソ連まで探しに行きます。▼やっと探しあて再会を果たしますが夫はすでに別の女性と結婚していました。幸せな夫婦が戦争に翻弄される悲劇と不条理を描いた「ひまわり」は反戦映画の傑作と評されています。ちなみにひまわりはソ連の国花です▼太平洋戦争を体験した日本でも若い男女の幸せをもち取られ死を覚悟の上戦地に赴いた青年たちのいたことを今も忘れません。私の叔父夫婦も新婚一ヶ月で徴兵され、紙切れと石ころで戦死を知らされました▼安倍首相は声高に憲法を変えて国防軍を作ろうとしています。改憲勢力が色んな理由をつけてでも憲法を変えたい野望を持っています。▼愛(どんな形の愛でも)引き裂く戦争は絶対してはならない! 平和憲法を守り抜きましょう。

(U)